

[専門教育科目/看護の基本]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
基礎看護学実習Ⅱ	NSP23_002	必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
平尾 眞智子 他	401	m.hirao	月曜日～金曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	受け持ち患者を通して健康上の問題を総合的に把握し、看護の立場から問題解決できる客観的能力を養う。受け持ち患者はペーパーペーシェントを活用する。授業形態は遠隔授業としTeamsを活用し行う。実施演習はロールプレイングを活用し患者体験を想起する。				
学習上の助言	受け持った対象に対し、基本的看護理論(V.ヘンダーソン)を用いた看護過程を展開し看護実践の基本的な知識・技術および態度を習得してほしい。				
教科書	看護の基本となるもの/著：V.ヘンダーソン/日本看護協会出版会				
参考書	人体構造機能学Ⅰ～Ⅲ、病理学、疾病治療論Ⅰ～Ⅳ、看護援助方法論Ⅰ・Ⅱ、フィジカルアセスメント、看護過程演習の科目で使用した教科書・資料				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	受け持った対象者の看護過程を通し、看護実践の思考過程を理解できる。		HSU(2)、NS(3)		
②	看護実践の全過程において倫理的態度をとることができる。		HSU(1)、NS(1)		
③	保健医療福祉チームとの連携を考えることができる。		HSU(3)、NS(5)		
④	保健医療チームの一員となる態度をとることができる。		HSU(1)(4)(5)、NS(1)(5)		
授業計画					
1. 実習の時期 2年次 7月					
2. 実習の具体的内容 各自対象者(事例)を受け持ち、その対象者に応じた看護過程を展開する。(オンライン)					
3. 実習の展開					
1日目		2日目		3日目	
オリエンテーション Teams利用 看護過程：情報収集		Teams利用 看護過程： アセスメント		Teams利用 看護過程： アセスメント	
4日目		5日目		6日目	
Teams利用 看護過程： 看護計画具体案		Teams利用 看護過程：実施		Teams利用 看護過程：実施	
7日目		8日目		9日目	
Teams利用 看護過程：評価		Teams利用 看護過程：評価		Teams利用 実習まとめ	
4. 学生配置 学生は1グループ5~6人とする。キャプチャ利用					
5. 最終提出について 各個人で自己評価、まとめのレポート、実習記録を提出する。					

[専門教育科目/看護の基本]

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	15	0	65	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	45	0	45
	思考・推論・創造する力	0	15	0	10	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力		0	0	0	10	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
レポート	①	✓	実習のまとめのレポートとして、実習終了後にレポートを提出する。テーマ及び字数等の様式については、実習オリエンテーション時に配布する実習要項を用い説明を行う。				テーマに基づいた内容であるかを確認し、課題についてはコメントする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①	✓	毎日の実習記録および看護過程の展開記録を実習評価項目に沿って評価する。				
	②	✓					
	③						
	④						
その他	①		実習における態度については実習評価表に基づき総合的に判断する。実習記録の提出期限に遅れた場合は受理しない。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
備考							
担当教員：◎平尾眞智子、中溝道子、溝口孝美、窪川理英、久島萌							
教員の実務経験： 看護師、保健師として実務経験あり 実践的授業の内容： 実務経験のある教員の指導のもと、看護展開について理解を深める。教員の経験から事例を取り上げ、患者の思いを思考しながら学習する。							
<ul style="list-style-type: none"> Teamsを使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨します。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況等社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る旨を記載してください。 							